

刊夕日七拾月一拾

# 常警每日新聞

定価 一月五拾銭 郵費別  
 廣告料 五拾二銭 行金五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警毎日新聞社  
 印刷所 常警毎日新聞社

## 赤十字の 起原と沿革 (九)

平町長 青沼 鋒太郎

日本赤十字社の歴史は、五十餘年であり、斯くも隆盛を極め、總數二百七十三萬二千二十一名の社員を擁し、昭和九年四月末日現在その基礎に於いて、その事業に於て、世界屈指の赤十字社としての地歩を占むに至りましたことは、事業そのものが國家的のものであり、歴代社長以下職員、努力並に一般國民の後援に因るところ多大であります。特に感激に堪へないことは我が帝室の優渥な恩眷であります。創立以來至高至貴の御保護に依つて、今日の盛況を得たのであることは今更ら申すまでもないことであります。

## ノート

蚊やブヨに刺された時にレモン汁をつけるとかゆみや痛みがなくなります

然しながら、時代の進運は益々かうした事業の健全な發達を要してゐるのであります。これを對内的に、或は對外的に見ましても、赤十字事業に俟つものは、單に戦時の救護だけで

はないのであります。

赤十字事業は、人道博愛の信念と報國奉公の思想によつて、初めて達成されるものであるといふことは明白な事實でありまして、そこに國民の協力的援助が必要となつてくるので有ます。言葉を換へて云へば、この

## …明日の日…

- 【朝】味噌汁——大根 小付 うづら豆
- 【晝】小饅頭 生干焼き さつま芋 つや煮
- 【晩】清汁——いわし 摺身

國家的事業は、國民總意の反映でありますから、國民のこれに對する關心如何が大いにこの事業の消長に影響を來すのであります。

而も今秋十月我が東京に第十五回赤十字國際會議が開かれ、各國赤十字社並に政府の代表を初め、其の他關係國際機關の代表者二百四十八名が參列して、世界平和と人類福利の爲に熱心に協議を遂げられたことは、全く空前の盛事でありまして、この會議の結果は特に日本赤十字社事業の將來に資する所少からざるものがあると思ひます。

「お互の爲に、そして全人類の爲に、赤十字事業に御

援助下さることは、最も望ましいことである」といふ言葉は、何等の私心もなく、邪念もなく、誰れにでも云ひ得る言葉であります。



街頭・點景  
飯村 閑舟

二條の白線  
金ボタン  
につこり笑ふ  
るくぼには  
氣になりやまぬ  
ときの鐘  
×  
きざに氣取つた  
制服に  
握る花束  
ほこらしく  
ペープメントを  
踏む乙女  
×  
靴も高らかに  
肩あけて  
ゆくよ氣まな  
あの媚態  
見積るハートが  
氣にかゝる  
×

### 有給外務員數々募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名  
 二、固定給の外旅費支給す  
 御希望の方は履歷書持參來談を乞ふ  
 (明治十四年創立)  
 明治生命保險株式會社  
 平 事務所  
 所長 小野 勝康  
 平・仲町

### 外科 門 專 科 線 光 X

## 上田外科醫院

平町南町  
電話一九二番

### 銀座〜和越の節は是非會館へ

獨特な奉仕献立

- 紅茶 一〇
- 二品料理 二〇
- ランチ 五〇

御宴會・御集會・御相談次第  
 電話五七五  
**平會館**

### 味覺の秋!!

## 仙の干やなぎ

賣初めました  
 其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛  
 ★鯉の子入荷致しました★  
 平町土橋  
**仙 鈴藏魚店**  
 電話六六二番

### 秋!!! 配の秋!!!

ドライブ……訪問……には  
 是非! 素晴らしく乗心地のよい  
 セリサワのニューカーを!  
 御用命下さい! **電395番**  
 平・三 芹澤タクシー  
 ◆男女事務員募集  
 希望者は至急來談あれ……  
 年齢十六、七歳より二十四、五歳迄  
 給料面談

### かまぼこ製造

## お徳屋

平町一丁目  
 お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
**お徳屋**  
 電話一四一番

### 通學用金釧外套賣出し

中黒最上 一二年……八圓五十銭  
 二三年……九圓  
 四五年……九圓五十銭

生等外 一二年……四圓四十銭  
 二三年……四圓七十銭  
 四五年……五圓五十銭

學生黒ラシヤ 一二年……四圓四十銭  
 二三年……四圓七十銭  
 四五年……五圓五十銭

△紺ヘル金釧服一年用三圓四十銭  
 △男子子供オーバ種々荷揃

**正札堂洋服店**  
 電話三四六番

# 仁井田浦を中心

## 壯烈なる戦闘展開

### 平和な初冬の空に砲煙轟く

#### 青訓聯合演習想定決る

郡青年訓練所の聯合演習は既報の如く愈々十八日の夜間戦を皮切りに十九日の拂曉迄神谷、草野、大浦、四倉町の廣區域に亘り篠山聯合會長統監の下に展開されるが十九日の拂曉戦に於ける兩軍の想定は左の如し、尙同演習には福島縣隊區司令官眞山大佐及び長瀬本縣教育課長臨席する筈

▲北軍  
一、南北兩軍は合戸、大倉、關場の線に於て對戦中にして戦斗交綏状態に入る  
二、北軍増加隊として先遣せられたる歩兵第九四聯隊第一大隊は本十九日午前五時四倉驛に下車(聯隊主力は途中列車故障に依り正午頃ならざれば到着せず)同時に左の要旨の軍命令に接す

イ、軍正面に於ける敵情大なる變化なし軍は郡山方面よりの後續部隊の來着を待ち本十九日正午を期し關場方面に決戦を企圖す

ロ、貴大隊は新に平附近に進出せる敵の有力なる部隊に對し仁井田川線を占領し軍の左側を援護し聯隊主力の來着を待つべし

ハ、同時迄に知りたる敵情左の如し

砲を有する有力なる敵は午前五時二十分陸前濱街道上夏井川橋梁を通過北進中

▲南軍  
一、南北兩軍は合戸、大倉、關場の線に於て對戦中にして戦斗交綏状態に入る  
二、南軍の増加隊として強行軍を以て招致せらるる

# 平町の稲作も

## 遂に平年作以下か

### 去月末實施の坪刈結果は 平均反當一石九斗五升

平農町會では去月三十日町役場と協同して町内十ヶ所に於ける水稻坪刈品評を行ひ本日その結果を發表した。最高は北目町の無坊愛國で一反歩當收穫量二石六斗三升七合で稍や良好であつたが平均反當收穫量は一石九斗五升三合で平町の平年作反當二石一斗に比し一斗五升餘の減收を示してゐるこの結果平年作と樂觀されてゐた本町稻作實收も憂慮されるに至つた成績左の如し

字名	品種	重量	反當收穫量
下ノ町	愛國五號	三三〇分	一、九七四
手	舊愛國	三〇六	一、五六六
梅	〃	四五九	二、三三四
堂根	愛國廿號	三四二	一、七五五
佃	〃	三六〇	一、八五一
鎌田	愛國五號	四一四	二、一二四
正月町	重	三五五	一、八三〇

# 高麗橋を中心として

## 眞木翁の懷古事談

老藩公の後の慕ひ  
雨道を相馬へ落つ  
出口の通路は、早や敵が廻つたかに思はれたので、相助けて僵れ木を辿つて、玉の門の濠を對岸へと渡つて、胡麻澤に出て、西小川迄ひたに急げば、夜は全く明け離れた、十四日の朝は此處で同じ道を辿つた人々

とも落合つた、そして水石山を越え、永井村へ、桶賣村へ、そして大きな字の方向を畫いて、山から山へと、川内村を経て、じた／＼降りつゞく雨の道を濱街道浪江へ出で、更に多數の藩中の人々とも落合ひ、老藩公の後の慕つて、相馬の城下に着いたが、此時は

北目町	無坊愛國	二七〇	一、四〇一
九品寺前	關	五二一	二、六三七
平均	取	四〇五	二、〇八二
		三八〇	一、九五三

# お正月の餅は高い

## 減收が祟つて糯米高騰

石城地方の本年度郡下の糯米は大減收を見せ陸糯米が三割田糯米が二割減で結局本年度糯米は郡下平年作一萬五千石に比し二割五分の一萬一千二百五十石の減收と見られて居るので平町の米穀商でも本日從來糯米一キロに付三十錢のものを卅一錢五厘に値上發表したが來月に入ると正月餅の用意に一層糯米の需要は増加されるので品不足の爲め更に値上される模様なので今年か正月には高い餅を喰ふ様になるであらうと

# 川前農産品評

川前村農會主催農産品品評會は十五日同村小學校で開いたが出品百五十八点、郡農會青山技師出張審査に當つたが尙次の如く各部落で開く

十六日 同村桶賣小學校 (出品百六十点)  
十八日 川前小白井分敬教 (出品百五十点)

# 國語教育研究會生る

郡下各小學校教員級方研究會は去る十一日午前十時より平第二小學校に於て發會式を兼ね開催出席者二十餘名種々協議の假住居、やがてドウやら舊居の手入れも出来、歸つて來ても、今述べた通り、急轉直下の、無一物の環境に其日を送るの外はなく、復舊も更生も、すべて容易の事ではなかつた、母は處々を探索し、漸く定紋附の長持と、自分の嫁入道具であつた箆笄一棹丈を、或る聚落で搜し當て、之を引上げて持歸つたが、中身の物は針一本も出る筈がなかつた。

# 神風

の特殊な時代を背景に鐵火な江戸藝者小勝が辿つた宿命の道——これは溝口健二がその最も好む感情、最も愛する境地に取材した第二の「唐人お吉」、再生「瀧の白糸」だ、即ち纏綿たるセンチメンタリズム、ロマンチズムの代表作である。

監督溝口健二は「神風連」で一篇の華麗なる叙事詩を物語る、一つひとつの時代的なスタイルと當時の世相を巧みに傳へた流麗たる畫面構成と入江たか子のクローム・アップの美とに——内容的には登場人物の性格と心理と行動等の描寫不足に厄されてこの繪巻物を些か混亂に陥れ、一個の美しい風俗繪巻にしか過ぎぬものと見て了つてはゐるけれど……全篇に溢れる時代風景はカメラ三本稔のよき協力を得て賞讃さるべきものがある。とまれ異色ある新與の代表名畫として一見の價値は充分(英)

# 流れゆく農村女子

## 平署管内で千七百名

### 家庭のために灰色の青春

華かなるべき青春を灰色の生活に押し沈めて家庭の犠牲となつた哀れなる身賣り娘の数は?

平署では去る一月から管内婦女子の出稼ぎ数を調査中であつたが十月末現在で左の如き数字を示してゐる

- ▲縣外出稼
  - 藝妓二四 娼妓五 酌婦七九 女給四一 女中兒守一九一 女工一一七 その他五一
- ▲縣内出稼
  - 藝妓三九 娼妓三二 酌婦四八 女給四九 女中

## 郡産果實の寵兒

### 蜂屋柿意外の不振

暴風雨による落果と 品質の低落に祟られて

味覺の寵兒、石城蜂屋柿は既報の如く石城郡農會に於て出荷斡旋を行ひ既に東京方面に十九車(五千餘箱、三萬貫)を送つて前途有望裡に一と先づ完了を告げたがその後に至り蜂屋柿の實收高は過般の暴風雨による落果に祟られて意外の減收を來し加ふるに品質の低落から相場は昨年比して香ばしからず現在一圓九十錢程

度の安値にてもなほ且つ捌け工合良好といへず生産家側では生産費の高騰から極端な値下げも出來ずデレンマに悩んでゐる状態である之が指導斡旋の衝にある郡農會でもこの意外の不振には全く頭を痛めてゐる

保管乾齎出荷 平農業者會では乾齎共同保管中であつた勿來齎業組合の今春の收購百四石此の程群馬

兒守一六六 女工二〇八 その他六九 合計一千七百一人で最高は女中兒守の三百五十七名、次いで女工の三百二十五名、酌婦百廿七名の順であるが身賣りの原因は大抵親達の犠牲となつて我が家を救ふべく哀しくも亦健氣に我れと進んで身賣りするもので出稼地別は東京の二百六十一名が流石に壓倒的で神奈川縣の六十二名が次位となつてゐる總じて關東地方が過半数を占めてゐる

縣某製糸工場に乾齎として十貫目付七十七圓の相場で賣却せられその利鞘約百圓餘の利益を得昨日出荷した

## 落寞たる冬訪れて 色街の灯暗し

平署の窓口から見た景況 寒夜に響くジャズ哀し

インフレ景氣に亂舞する黄金時代の炭山を控ゆれどだが商業都市平町の現況は凶作と凶嶺の悲鳴の連続線に引入れられて景氣は沈滞を極めてゐるわけてこの影響を多分に受けるカフエー花柳界は火の消えた如き寂れ方だ、大漁に懐を膨ませた漁夫達が狂酔の姿はななく「實りの秋」過ぎて温かき財布の緒を緩める農村青年の姿も見當らぬ、人々の懐は冷々として迫り来る師走の足元に戦いてゐる、赤紫のネオンの影に狂騒たるレコードが奏でられやうとも酒杯を上げる人なきカフエーは正に落寞たる冬、悲戀に哭く少女の凍つた心臓だ!

凶作地から 女中を雇入る 月見町佐藤氏 平町月見町佐藤鐵工場主佐藤源吉さんは凶作地の娘さん一人でも救済すべく激甚地岩手縣地方から女中さんをお雇ふことになり昨十五日平職業紹介所に申込んだが同所でも時節柄同氏の意

**明日のラジオ**

拾八日

今晩の部

- 後六〇〇 子供の時間
- お話「ヘイタイアソビ」井上ヨシタカ
- 後六二五 英語講座(五ノ三)フランクホーレー
- 後七二〇 人形浄瑠璃 文樂座より中継竹本津太夫一座
- 後八、四五 歌謡曲徳山蓮

明日の部

- 前九、一〇 榮養料理献立 榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間 「ハーモニカと獨奏」松林和男

今晩も明日も北西の風晴

**磐炭新礦區 試掘許可**

植田方部八十萬坪 磐城炭礦より出願中であつた植田、渡邊、上遠野に跨る礦區八十一萬七千坪の石炭試掘願ひは此程許可された

**兵事主任會** 平署管内兵事主任會は十九日午前十時から平署會議室で開く

**三春兵事主任視察** 田村郡三各町村兵事主任十一名は十九日來郡、平署管内の優良町村である平、小名濱、高久湯本四町村の兵事々務を視察する

**兵役證書交付式** 平町では既報の如く今十七日午後三時から平第一小學校講堂で現役兵並に補充兵證書交付を舉行した

**無免許の腕見事**

遊戯中の子供を轢殺す 又も昨日江名町で交通禍

豊間村自動車營業鈴木房次郎方見習運轉手玉川村大字住吉生れ大竹勉(三)は無免許にも拘らず昨十六日午後三時頃無暴にもトラックを運轉江名町南町を進行中道路傍で遊戯中の同字庄司繁(六)を誤つて轢倒し頭部大腿部に瀕死の重傷を負せ直

**裁判所より**

既報骨肉相喰ひ鬭争を演じた高久村大字下高久字前ノ内二七農太吉長男鈴木定彌(五)及び實弟房吉(三)に係る傷害事件の第二回公判は今十七日午前十時より平區裁判所に於て香西判事係で開廷證人として訊問する管であつた平町七丁目大野マツさんが行方不明の爲め門傳辯護士より新たに證人として實父鈴木太吉及び房吉の妻ツル定彌の妻イッコの訊問方申請したので来る十二月一日現場に於て取調べを行ふこととして閉廷

△江名町大字江名字折戸四二澤辰之助氏方新瀉縣北浦原郡生れ漁夫羽田一郎(三)が去月二十日江名町魚市場前で同町字中之作字榎戸二〇漁夫吉田練太郎を毆打全治約三ヶ月の重傷を負はせた傷害事件の公判は昨日午後一時より平區中島判事係りて開廷檢事より懲役四ヶ月を求刑されたが直ちに判事より同人從來の善行に徴して懲役四ヶ月但し執行猶豫三年間といふ寛大なる判決を言渡された

**今晩の部**

- 後九〇〇 時事解説 町田梓樓
- 後九、三〇 時報 ニューリス 氣象通報 番組豫告
- 前九、一〇 榮養料理献立 榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間 「ハーモニカと獨奏」松林和男

**明日の部**

- 前九、一〇 榮養料理献立 榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間 「ハーモニカと獨奏」松林和男

**三春兵事主任視察** 田村郡三各町村兵事主任十一名は十九日來郡、平署管内の優良町村である平、小名濱、高久湯本四町村の兵事々務を視察する

**兵役證書交付式** 平町では既報の如く今十七日午後三時から平第一小學校講堂で現役兵並に補充兵證書交付を舉行した

**無免許の腕見事**

遊戯中の子供を轢殺す 又も昨日江名町で交通禍

豊間村自動車營業鈴木房次郎方見習運轉手玉川村大字住吉生れ大竹勉(三)は無免許にも拘らず昨十六日午後三時頃無暴にもトラックを運轉江名町南町を進行中道路傍で遊戯中の同字庄司繁(六)を誤つて轢倒し頭部大腿部に瀕死の重傷を負せ直



# 浮名新音頭

田邊南龍(作)

山本美春(書)

廻し者(二)

喜三郎はニッソリ笑つて「作、汝俺にそんなことを云やアがるが、汝の方に都合のあることを棚に上げて置きやアがつて、能くも俺の首を取りに来やアがつた、サア取れるなら取つて見ろ」

是は何ういふ理由であるかと申しますに、此作藏といふ者は三河島から板橋、青梅街道の方へ掛けて一面に寺カスリを取つて居る衆右衛門といふ人がある、其貸元の身内で一二と云はれた男で、そんなに小ぎていの利かねえ男でもなかつたのであります、三年跡の十二月の廿日に大詰博奕をして丁度鳩ヶ谷の町へ行つて盆ゴザ引を親分の代貸元に行つて勝負をして居る「サア今日は俺が親分の代貸しに来たんだに依つて皆んな其つもりで骨エ折つてやつて貰はうぜ」

「御苦勞様でございます、御苦勞様でございます」その内に博ちが切付いて勝負といふ、充分の寺カスリが上つて居る。鳩ヶ谷の在からお百姓さんが皆んな少々ばかり金子を持つて出て参ります、

負けた者は、しをく歸る勝つた者は彼方へ行つちやア酒を飲み、此方へ寄つちやア酒を飲み飯を食ひ、いろ／＼な話をして居る。吉田屋といふ料理屋の奥で二人のお百姓さん



「主は何うだ」「私もハア三兩へい勝つた」「好い事をしたなア」「何うだ、モ一編仲歸りをして此奴ウ皆んな丁と張つたら」「止さつせえ、そんな怨ウかくと、皆んなフンだらされて了ふ、それよりは夫を皆んな取られたものと諦めて、嬬アに襟方の明いた着物の一枚も買つてやらつせえ」「さうだ、夫が一番家内安

「オ、い鳩ヶ谷の博ちは豪エ繁昌だなア」「さうよ、大變に繁昌をするが、何うだ如何程か勝つたか」「ウム八兩ばかり勝つた」「其奴ア好かつたなア」

全だらう話をしてゐる傍で、一人チビリ／＼と飲んで居た質朴なお百姓さん、少しばかりの手荷物を持つて居る此話に聞耳を立て、好きな道であるか「少々伺ひます」

市原醫院  
平町 田町  
電話一四四番

「何んだね」「其博ちの出来るといふなア何所でございます」「ハ、アお前さんも好きだと見えるね、此お前直き先に紙屋といふ旅籠屋がある、其お前裏手にあるんだ」「ハアさうですか、そりやアアア結構です、ぢやアアア私も出掛ませう」「ア、出掛けて行きなされるが宜い」「へい、有難う存じます」

彼の百姓はソソリ紙屋でえ旅籠屋へ来て見ると、ボン／＼切付いて居る、其の賭場の繁昌てえものは一方ならない、勝負はドン／＼切付いて居る錢金交りで琉球の三枚ボンゴザ、大層なものでござい、彼のお百姓はヒヨロりと面ア出して「何は兎もあれこんなにマア繁昌をして居るてえなア豪勢もんだ」

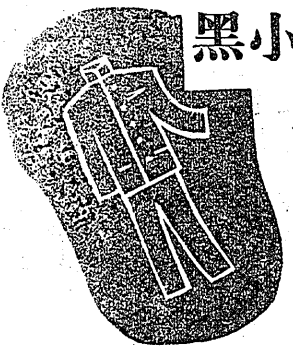
貸切の御用命は!

電話六四〇番

尼子タクシー

是非お願いいたします

遠乗りには特に御相談に應じます



## 黒小倉通學服賣出

一望秋色

さあ御召替です  
かかやには皆様の御満  
足の得る品が何時も澤  
山揃へて御座います

小学生用 (長ズボン付)	
A	90
B	1.10
特製品	2.35
中学生用	
特製6號	3.50
御注文 (特上)	6.30

ふかや洋服店 平電208

## 季節料理

### よせなべ

かきなべ	三〇	その他	
はまなべ	三〇	煮込みなべ	三五
いかなべ	同	牛なべ	三五
ねぎまなべ	同	豚なべ	同
あんなべ	同	鳥なべ	同
ちりなべ	三五	あび天おら	三〇
あなごちりなべ	三〇	あび天どん	三五
たらちりなべ	同	あびふらい	三〇
酢のもの	二〇	かきふらい	二五
等々始めました何卒御試食下さい。		あんこも酢	二〇

## 魚清食堂

平ニ警察署通り

魂の入った  
機關銃印の自轉車

### 機關銃印の自轉車

日章旗の如く輝く特長  
一、全部鋼鐵、特種壓搾製  
二、自動注油、防水防塵、裝置  
三、ヘッド及びホークのスプリング作動  
斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります。  
機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓  
戰車の如く頑強だと御評判を賜りました  
フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓  
永年修繕費のかゝらぬ  
兩車の御利用を切に御願ひ申上げます

フタバ商會  
平・新川町・月見橋際

## 中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七